

2017年度 9.23 秋分の日 (土祝)



# 一日神学校のご案内



JAPAN LUTHERAN THEOLOGICAL SEMINARY

JAPAN LUTHERAN COLLEGE / GRADUATE SCHOOL

## message

### 宗教改革 500 年 ルターのころを現代に

日本ルーテル神学校 校長 石居 基夫  
ルーテル学院大学 学長 江藤 直純

今からちょうど 500 年前、ドイツに生きた一人の修道士マルティン・ルターは時代を生きる人々に対し、神の恵みのことばを行き渡らせようと改革の呼び声をあげました。中世末、ペストの流行や飢饉などで死が蔓延する時代、そしてまた新しい産業の胎動が社会全体を大きく変えようとしている不安定な時代でもありました。恐れや不安が人々のころを捉えていたのです。

ルターは、一人ひとりが、神に生かされるいのちを生き生きと喜びをもって生きることができるよう、共に支え合い、仕え合う世界の実現を望んだといっただいでしょう。それは、単に宗教とか教会という枠の中の改革という事ではなく、公的な社会の中で教育や福祉を整えていく具体的な「かたち」を形成していく責任を自覚した取り組みでした。この改革の運動が西欧全体に大きな影響を与え、苦難を伴うこともありましたが、新しい時代を切り開いていく原動力となったといっただいでしょう。

宗教改革 500 年目の今年、私たちの「一日神学校」は改めてこのルターのころをうけとっていきます。

神の恵みを深く知り、世界のなかに、また人々のころと生活のなかに、その恵みを守り実現していくことに、ルターはころを砕いたのです。私たちルーテル学院、大学と神学校は、そのルターの精神を引き継ぐことで、21 世紀の現代を生きる人々の苦悩にんていく使命をもっています。キリストの恵み、教えに学びながら、神と世界、人間といのちの理解を深め、この使命を実現していく取り組みを、この「一日神学校」でみなさんと共に確認させていただきたいと思っています。

今年も、どうぞこの「一日神学校」においでください。

### 開会礼拝・派遣礼拝

数百名で行う開会聖餐礼拝は圧巻。全国から集められたルーテル教会の信徒が心一つにして礼拝を行います。一日の終りにはこどもと共になごやかな派遣礼拝を行います。



### 講義 (午前・午後)

一日神学校の柱、本学教員による講義です。神学・社会福祉・臨床心理の 3 分野から、充実したラインナップで皆様をお待ちします。しっかり学んであなたも一日神学生！(講義によっては録音も可能)



### お昼のコンサート / チャペルコンサート

本学音楽サークルによるコンサート。今年にはチャペルオルガニストによる演奏もあります。午後のひと時をどうぞお楽しみください。



### ミニショップ

一日神学校名物ミニショップです。楽しい交わりのときをお過ごしください。



### こどもしんがっこう

毎年恒例の幼・小学生対象のこどもしんがっこうを開催。神学生や大学生のお兄さん、お姉さんが子どもたちと共に学び遊びます。



## 2017年度 一日神学校タイムスケジュール

午前

9:15	受付開始 (玄関ホール)	
9:45	開会聖餐礼拝 (チャペル)	
11:10	新作品「ルター」から楽劇「ルター」へ ルネサンスダンスと文楽の可能性 上村 敏文 [263 教室]	こどもしんがっこう
	宗教改革と女性たち 女性の視点で考える宗教改革 500 年！ 平岡 仁子 [252 教室]	
	イエスの譬え話を科学する 藤井 英一 [251 教室]	
	一人ひとりが包み込まれる社会 障がいと共に 高山由美子 [151 教室]	
12:30	昼食と交わりのひととき 各教会のミニショップ (トリニティホール 1 階ラウンジ)	
13:30		

午後

13:30	交わりのひととき 各教会のミニショップ (トリニティホール 1 階ラウンジ)	お昼のコンサート【食堂】
14:00	ルターと公共世界 宮本 新 [251 教室]	チャペルコンサート (聖歌隊とハンドベルとパイプオルガン) 在学生スピーチ
	自分の声を見出す ルターの青年期と現代の青年期 石川与志也 [151 教室]	
	『キリスト者の自由』を深く読む 江藤 直純 [252 教室]	
15:20		
15:30		
		派遣礼拝 (16:00 終了予定)

●プログラムの参加は無料です。事前申込は不要です。  
●講義は当日先着順となっております。定員になり次第締め切りさせていただきます。

午前



## 教授 高山 由美子

略歴▶明治学院大学社会学部社会福祉学科卒、東洋英和女学院大学大学院人間科学研究科修士課程修了(修士 人間科学)。障がい福祉施設、(財)鉄道弘済会、(社)日本社会福祉士会勤務を経て現職。社会福祉士。

### 一人ひとりが包み込まれる社会 障がいと共に

私たちが暮らす地域、社会、世界は、個性豊かな人々によって構成されています。しかし現実の社会では、さまざまな格差や分離・分断などによって、ある特定の人々を排除しようとする力が働いています。一人ひとりが包み込まれる社会を実現するために私たちができることは何か。「障がいと共に」という視点から共に考えてみましょう。



## 教授 藤井 英一

略歴▶東海大学海洋学部卒。「深海魚」の分類と生態が専門で、世界各地の海洋調査航海に参加。専任教員の中で唯一、自然科学関係の科目を担当している。研究と趣味を兼ねたアウトドア活動が大好きで、自らの体験をもとにした自然流生活術を学生たちに伝授することを喜びとする。現在は、秋田県白神山地で森と海の環境保全の活動に力をそそいでいる。

### イエスの譬え話を科学する

神による万物の創造 VS 自然淘汰説による種の進化のように、聖書のことばの解釈と自然科学の学説はしばしば対立してきました。このようなことが起こるのは、聖書の読み手の世界観、自然観の違いが根底にあります。

今回は、私の専門の水産資源学、農業生物学、さらに進化生物学の立場から、「イエスの譬え話」の本質を読み解きます。「賢い漁師の話」、「種まきの譬え」において、弟子たちは、「聞く耳」をもっていたのでしょうか。



## 専任講師 平岡 仁子

略歴▶日本ルーテル神学大学卒(現ルーテル学院大学)。日本ルーテル神学校卒。The Lutheran Theological Seminary at Philadelphia 修士課程修了(STM)。礼拝学の世界的権威 Gordon W. Lathrop に学ぶ。日本福音ルーテル小田原教会牧師、ルーテル学院大学・神学校チャプレンを経て、日本福音ルーテル保谷教会牧師。

### 宗教改革と女性たち 女性の視点で考える宗教改革 500 年!

宗教改革者マルティン・ルターは「古ぼけた一般論」を再生させ、当時、地位が低く、弱い存在とみなされていた女性たちに明確な定義を与えました。そして、家庭における夫婦関係の模範を示し、と同時に愛による鮮烈な変化によって、人々に有益な実例をもたらしました。宗教改革が女性たちに与えたものとは何であったのでしょうか。ルターを取り巻く女性たちを通して、宗教改革とは、その心とは何かを、女性の視点から考えましょう。



## 准教授 上村 敏文

略歴▶筑波大学卒。筑波大学大学院修士課程修了(国際学修士)。米国ルーサー神学校神学修士。フィールドワークに重点を置き、日本各地、アフリカ(タンザニア)、ハワイ、ネイティブアメリカン居留区にも調査範囲を広げている。

### 新才能「ルター」から楽劇「ルター」へ ルネサンスダンスと文楽の可能性

能楽が幽玄を基調とした格調高い象徴的な芸能に対し、文楽は関西の義理と人情の世界を扱うどちらかという庶民的なものです。宗教改革 500 年の年に六代竹本呂太夫の名跡を襲名された太夫に協力いただき、さらにルネサンスダンスで内外で活躍されておられるダンサーの共同のもと楽劇としての「ルター」を構成します。一日神学校にはある程度の概要をお伝えすることができると思います。



## 教授 江藤 直純

略歴▶一橋大学卒。日本ルーテル神学大学(現ルーテル学院大学)・神学校卒。立教大学大学院修士課程、シカゴ・ルーテル神学校大学院博士課程修了。神学博士(Th.D)。キリスト教倫理やキリスト教と福祉関連を担当。併せて宣教論にも深い関心を持ち実践神学との切り結びを絶えず探る。研究テーマは義理論に基づく宣教論の展開・キリスト教的生命倫理の構築。日本福音ルーテル教会牧師。

### 『キリスト者の自由』を深く読む

『キリスト者の自由』とは改革者ルターが書いた膨大な著作の中で彼が最も愛した、珠玉の小品です。ここにはキリスト教の人間観、自由、律法と福音、信仰義認あるいは恵みのみによる救い、全信徒祭司性、信仰と行為、そして愛の奉仕といったルターの信仰と神学の神髄が簡潔にかつ味わい深く述べられています。ご一緒に読みましょう。構造と核心となるメッセージを明らかにし、現代に生きる私たちへの問い掛けと指針を聴き取ります。



## 専任講師 石川 与志也

略歴▶国際基督教大学教養学部教育学科卒。国際基督教大学大学院教育学研究科博士前期課程修了、国際基督教大学大学院教育学研究科博士後期課程満期退学。スクールカウンセラー、単科精神科病院、学生相談所、心理療法専門機関にて臨床活動を行ってきた。現在は、学生相談所および心理療法専門機関にて臨床実践を行っている。

### 自分の声を見出す ルターの青年期と現代の青年期

この講義では、精神分析家E・H・エリクソンの著書『青年ルター』と私の心理療法家としての臨床経験をもとに、「自分の声を見出す」というテーマでお話したいと思います。宗教改革者マルティン・ルターは、青年期に大きなアイデンティティの危機を体験したとエリクソンは指摘しています。ルターの生きた時代から 500 年のときを経て、社会構造も青年期のあり方も大きく変化しましたが、危機を乗り越えるルターの格闘から、現代の青年たちの格闘を理解する鍵を考えてみたいと思います。



## 専任講師 宮本 新

略歴▶同志社大学、ルーテル学院大学、日本ルーテル神学校、シカゴ・ルーテル神学校博士課程修了(Ph.D)。学院では宣教学や教養学関連科目を担当。日本福音ルーテル田園調布教会牧師。

### ルターと公共世界

今から 100 年程前のドイツで、「ルターの心を現代に」を問うた人がいました。「プロ倫」こと『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』の著者マックス・ウェーバーです。ウェーバーは「鉄の檻」に化したかのような近代社会を見渡してルターの「ペルーフ(召命、使命、職業)」理解に着目しました。それから 100 年後の世界を生きる私たちは再び「ルターの心」に触れて、生きるヒントを探ってみよう。



## 本学講師・チャペルオルガニスト 湯口 依子

略歴▶東京芸術大学オルガン科卒、同大学院修了。ドイツ・ウエストファーレン州立音楽学校卒。青山学院女子短大講師、桜美林中学高校オルガニスト。聖歌隊▶大学の中で最も伝統のあるサークルです。学内の礼拝や地域の教会での賛美奉仕、学園祭や病院・福祉施設等でのコンサートを行っています。ハンドベル ラウス・アンジェリカ▶学園祭、聖歌隊とのジョイントコンサート、クリスマス奉仕と様々な場で演奏しています。

### チャペルコンサート

宗教改革 500 年を記念した本学聖歌隊とハンドベルの合同曲、パイプオルガンのコンサートを企画しております。本学を代表する音楽を心行くまで堪能してください。

午後

## こどもしんがっこう 2017

### ルターが大切にしてきたもの ~わたしもちっちなルターさん~

「すべての人が神さまから愛されているから、神さまを信じてみんなでいっしょに礼拝しよう。」

今から 500 年前、なんどもなんども聖書を読んでいたルターさんはその大切さに気がつき、たくさんの人に伝えました。

今年のこどもしんがっこうは、みんなもちっちなルターさん

んになってルターさんが大切にしてきたものを学びます。オリエンテーリングやおやつ時間もあります。どうぞ、こどもしんがっこうに来てください。大学や神学校のおにいさん、おねえさんといっしょに楽しく過ごしましょう。



会場・お問合せ先

日本ルーテル神学校・ルーテル学院大学

〒181-0015 東京都三鷹市大沢3-10-20

☎ 0422-31-4611 (代表)

- JR中央線「武蔵境駅」南口より小田急バス「吉01」「境91」「境93」のいずれかに乗り8分。「西野」下車徒歩3分。
- 京王線「調布駅」北口より小田急バス「境91」「境51」のいずれかに乗り20分。「西野」下車徒歩3分。



昼食時には軽食を販売いたします。  
また、手作りケーキ、コーヒー等を売るミニショップも出店予定です。

